

1. 日時 平成 30 年 4 月 27 日（金）13:00～15:00
2. 会場 日本学術会議 5-C(2) 会議室
3. 出席者 氷見山幸夫(委員長)、春山成子、岡本耕平、櫻井武司、篠田雅人、中村桂子、山形与志樹（skype 参加）、吉田謙太郎、阿部健一
（欠席：石川義孝、亀山康子、近藤昭彦、城山英明、山口しのぶ、山田高敬）

4. 配付資料

資料 1 委員名簿（平成 30 年 4 月 9 日現在）

資料 2 第 24 期・第 1 回 HD 分科会議事要旨

5. 議事

（1）前回議事録の確認

- ・前回議事録（案）を確認し、承認された。

（2）HD に関する国際的・国内的動向について

- ・岡本委員から、4 月 1 日、名古屋大学にフューチャー・アース（FE）研究センターが設置された旨、説明があった。
- ・中村委員から、FE に関連した環境保健学分野の動向として、Planetary Health における人の健康への取り組みの重要性について説明があった。
- ・氷見山委員長から、SDGs は各テーマが分かりやすく、社会的に注目が集まっているのに対して、FE は理念はよいがテーマや目標が分かりにくく、実際の予算化・組織化があまり進んでいないとの指摘があった。また今後、FE は SDGs や ESD との連携を一層強化する必要があるとの説明があった。更に、FE と関連した動向として、ISC（国際学術会議）の発足を目前にして、CIPSH（The International Council for Philosophy and Human Sciences）の活動が活発化していることについても説明があった。
- ・山形委員から、FE が構築を進めつつある取り組みとして、様々なテーマを設定した KAN（Knowledge Action Network）について説明があった。

（3）シンポジウムの開催について

- ・阿部委員より、分科会が実施する予定のシンポジウムのテーマとして「人類世」が提案され、承認された。なおシンポジウムの題目と開催趣旨の素案は阿部委員が作成し、シンポジウムは分科会委員が主体となり実施し、各委員は講演の演題を検討し、日程は 11 月中～下旬の土・日曜日を中心に調整することとなった。

（4）小委員会の設置について

- ・委員長より、KLaSiCa 小委員会の設置が承認された旨、報告があった。また同小委員会世話人の阿部委員より、同小委員会について説明があった。
- ・委員長より、国際プロジェクトへの対応のため、新たな小委員会の設置について検討してほしいとの要望が

あった。

(5) 委員の拡充について

- ・ KLaSiCa 小委員会の委員として、阿部治教授（立教大学社会学部現代文化学科・大学院社会学研究科）を加えることについて阿部委員より提案があり、これを分科会として承認し、手続きを進めることとした。
- ・ 委員長より、FE や SDGs に関連した活動を充実させるために、本分科会の委員として相応しい会員・連携会員を推薦してほしいとの要望があった。

(6) その他

- ・ 次回の分科会は、7月中旬で調整することとなった。